



木村 素子
水曜会
(55分)



(仮称) 福山市子ども計画は

問 計画を円滑に実行するためには各課の連携が必須だが、いかに行う予定か。

答 本計画においては、新たに企業における働き方改革などの少子化対策や、ヤングケアラー対策などの若者支援の取り組みが位置付けられる。

次期計画に位置付く施策は、より複数の分野にまたがり、対象とする年齢層も広がることから、ネウボラセンターにおいてはワンストップ相談窓口の設置や、相談から支援までを一体的に行う体制を整える。

例えばヤングケアラー支援は、現在、主に保健福祉局、市民局、教育委員会が連携して対策を講じているが、センター設置後は相談の記録などを一元的に管理、共有することで、よりきめ細やかで迅速な支援につなげていきたいと考える。引き続き、子育て家庭などの意見を聞きながら、関係部署と連携し、希望の子育てを実現していく。



加藤 陽一郎
水曜会
(50分)



(仮称) 子ども未来館は

問 大阪・関西万博パビリオンの移設誘致を検討しているとのことである。中でも、いのちの遊び場クラゲ館は未来館との親和性が高いとのことだが、概要は。

答 科学、技術、工学、芸術、数学などの分野を重視するSTEAM教育を主題に掲げており、世界の工房とつながるワークショップなどが展開される予定である。

神辺水呑線は

問 計画の内容は。

答 国道2号と交差する明神町交差点から入江大橋南詰交差点までの約2キロメートルを高架道路で結び、入江大橋付近で福山道路と接続するものである。この整備により福山東インターチェンジから福山港等へのアクセス性が向上し、物流の効率化や生産性の向上に大きく寄与するものと期待する。



福山道路(未事業化区間)および神辺水呑線のイメージパース



千葉 真一
水曜会
(50分)



北部地区のにぎわい創出は

問 千代田町の芦田川緑地かわまち広場は、市内外から多くの利用者を集め、地域の活性化の一翼を担っている。北部地区、芦田川上流においても、かわまち広場を希望する声を多く聞かすが、考えは。

答 まずは、地域住民の方々と意見交換を行うなど地元の熱意やニーズの把握に努める。



かわまち広場のBBQテラス利用状況

学校体育館へのエアコン整備は

問 全小中学校の体育館への整備は。

答 基幹緊急避難場所に指定されている24校には、2階ギャラリーに床置き型室内機を10台程度設置する。基幹緊急避難場所に指定されていない体育館は、子どもたちの教育環境の充実を念頭に、このたび整備する空調機的能力、断熱性との関係、光熱費の状況等、効果を検証する中で検討する。